



成瀬台中学校だより

2022年度—第1号—

学校ホームページ <http://www.machida-tyky.ed.jp/j-narusedai/>

2022年4月27日発行
町田市立成瀬台中学校



校長 福田 秀樹

Tel. (042) 728-6030

Fax. (042) 721-4489



新年度がスタートしました

校長 福田 秀樹

4月1日付で成瀬台中学校長に着任いたしました、福田秀樹と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。校庭の桜もいつしか葉桜となり、木々の緑がまぶしく感じられ、新緑にむかう新しい息吹が感じられる季節となりました。新入生159名を迎え、全校生徒446名で2022年度がスタートしました。新入生の保護者の皆様、改めてお子様の御入学おめでとうございます。入学式の呼名にキラキラとした眼差としっかり返事をする新入生一人一人の表情を壇上から見ることができ、とても頼もしく感じました。私自身も成瀬台中学校の1年生として、生徒とともに成長していきたいと強く念じております。入学式での式辞を紹介させていただきます。学校だより第1号の挨拶にかえさせていただきます。

令和4年度 入学式 式辞

降り注ぐ光も日ごとにやわらかさを増し、桜をはじめとする花々も咲き誇り、春の香りに満ち溢れる季節を迎えました。本日ここに、令和4年度 第44回 町田市立成瀬台中学校 入学式を挙げていただきますことを、心から感謝申し上げます。

先ほど、学級担任から一人一人呼名され、その決意とともに大きな声で返事を聞かせてくれた、159名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。2年生、3年生の上級生、そして教職員一同が皆さんを心から歓迎いたします。

みなさんは、義務教育の仕上げとなる最後の3年間を、この成瀬台中学校で生活することになり、その第一歩を、今日踏み出しました。一日も早く学校生活に慣れ、充実した毎日を送ってほしいと願っています。

本校の教育目標である「個性を生かし、自ら学び続ける人間」「自他を尊重し、思いやりのある人間」、「困難に打ち克つ、心身ともにたくましい人間」、そのような生徒を目指し、学習に、学校行事に、部活動に、精一杯取り組んで欲しいと思います。

さて、学校生活を行う上で、意識してほしい言葉があります。それは、『共有』という言葉です。共に有ると書き、複数の人が同一のものを共同で所有することです。学校というところは、そこで生活する全ての人と「時間」と「空間」を共有しています。クラスメイトは、教室という場で「時間」と「空間」を共有しながら学び合いをを行います。

学校生活では係や当番、委員会など、みんなで分担し、また共に力を合わせ協力して進めます。このことは共有する時間と空間を大切に、心地よい学校生活をつくり、互いを高め合う「体験(経験)」を共有することにつながります。体育大会や合唱コンクールなどの大きな学校行事に向けて協力しながら取り組む「体験」は、仲間との大切な「思い出」を共有することにもなります。「時間」や「空間」、「体験」や「思い出」は、目に見えるものではありません。しかし、確実に存在するものです。そのことに、想像力を働かせ、「今」を大切にしてほしいと思います。

「大切なのは、かつてでもなく、これからでもない、一呼吸、一呼吸の今である。」という言葉があります。「今」この場をいい加減にせず、進んでいくことでこれからの決まってくるということです。

今、この体育館でも時間と空間は共有されています。皆さんの入学を祝い、皆さんのこれからの活躍を願う思いも共有しています。これから始まる中学校での生活では、失敗や間違いはつきものです。皆さんを成長させる貴重な経験です。そのことについても共有し、私たちも皆さんと共に学んでいきたいと思っています。

結びになりますが、保護者の皆様に申し上げます。

これまで慈しみ育てられた大切なお子様のご入学、誠にありがとうございます。そのお子様を、本日から3年間、私たち教職員一同、責任をもってお預かりいたします。

中学校生活の3年間は、ご自身も経験されたように、生徒たちが心身ともに大きく成長する時期であり、その成長のために様々な困難や苦悩が訪れる時期でもあります。生徒の健やかな成長を支えるため私たち教職員と保護者の皆様が同じ方向を向いて力を合わせていくことが必要不可欠であると考えております。

学校と御家庭がしっかり連携し、地域の方々のご支援をいただきながら、教育を推進してまいります。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

以上をもちまして、私の式辞とします。